

【NEWS RELEASE】

2024年7月26日

各位

株式会社三井住友銀行
三井住友カード株式会社個人のお客さま向け総合金融サービス「Olive」 300万アカウントを突破

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」と）と三井住友カード株式会社（代表取締役社長：大西 幸彦、以下「三井住友カード」と）は、個人のお客さま向け総合金融サービス「Olive（オリーブ）」が、アカウント開設 300 万件を突破したことをお知らせいたします。



Olive はサービス開始後、他行口座から Olive アカウントへ自動入金できる「定額自動入金サービス」やお手持ちのクレジットカードを最大5枚まで追加できる「支払いモード追加サービス」等、継続的な機能のアップデートを重ねてきました。さらに、2024年5月に開設した「Olive LOUNGE 渋谷店」では、Olive をお持ちのお客さま限定で地下1階の個室をご利用いただける等、従来の金融サービスにはない特典も提供しております。

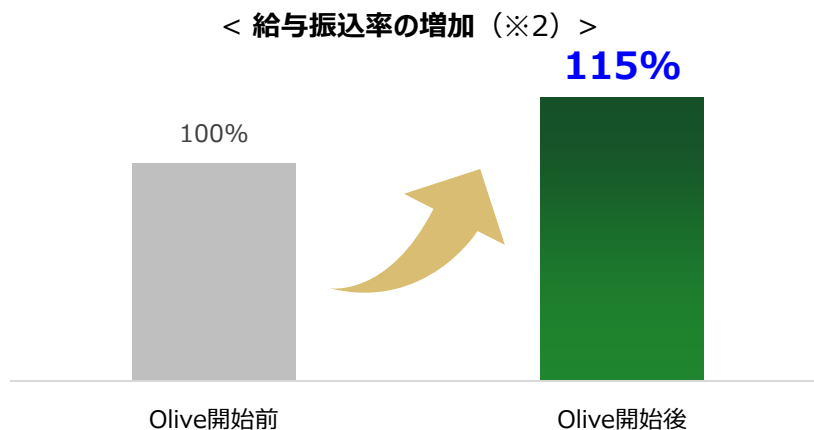
2024年2月にアカウント開設数が200万件を突破して以降、これまで以上のペースでアカウント数が増加し、この度2024年7月にサービス提供開始から約1年5か月で、300万件を突破いたしました。今後も便利でお得な金融サービスとしてお選びいただき使い続けていただけるよう、継続的なサービス向上に努めてまいります。

■Olive 会員さまの特徴から読み取る、口座・決済の変化

(1) Olive 会員さまにおける口座利用の変化

① Olive 口座のメインバンク化

当行の既存口座から Olive へ切り替えたお客さまのうち、Olive を給与振込先口座としている方の割合、給与振込率（※1）は、115%に増加しており、Olive をきっかけに当行をメインバンクとして日常的にご利用いただいている方が増えていることが読み取れます。



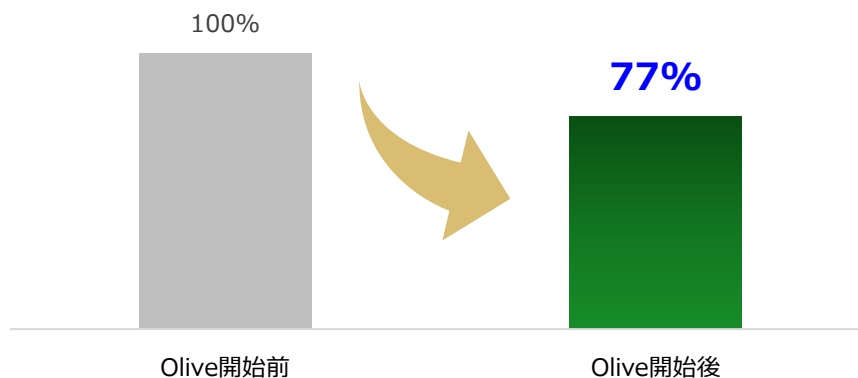
（※1）給料振込率算出における、Olive を給与振込先としていることの判定は、Olive の選べる特典「給与・年金受取特典」の条件に基づいて実施（2 か月以上連続で 3 万円以上の入金実績がある方を含む）

（※2）Olive 切替者のうち、Olive 開始前「2023 年 2 月末時点」と Olive 開始後「2024 年 4 月末時点」での上記条件達成者割合を比較

② ATM での現金引き出しの減少

Olive の開始以降、当行で新規口座開設されたお客さまの ATM 引出利用率が減少しております。ATM 引出利用率について、Olive 開始前後で比較すると約 23%減少しており、ATM を介して現金を引き出し、使用する機会が減っていることが伺えます。

< 新規口座開設者のATM引出利用率の減少（※3） >

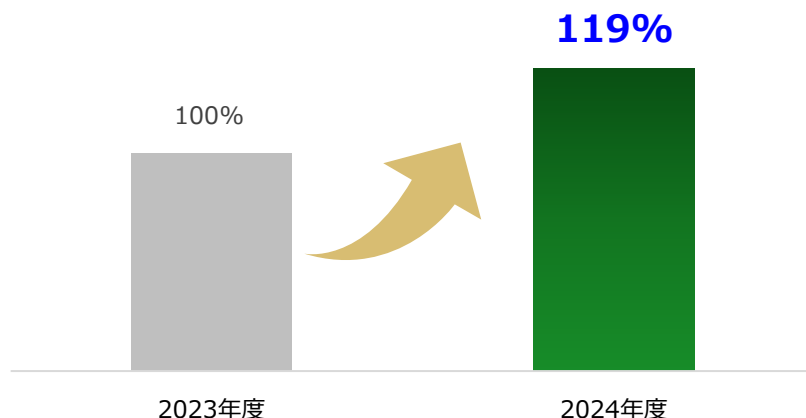


（※3）2022 年度新規口座開設者（除く、Olive）の 2023 年 3 月 ATM 引出利用率と、2023 年度 Olive 新規口座開設者の 2024 年 3 月 ATM 引出利用率を比較

(2) Olive 会員さまにおけるキャッシュレス決済の浸透

お支払いに着目すると、2024 年 4 月の新規口座開設者のフレキシブルペイ利用率は前年比、約 1.2 倍となっており、よりキャッシュレスニーズの高いお客さまに Olive を選択いただいていることが分かります。Olive 口座利用者のフレキシブルペイ利用率の上昇は、銀行口座、キャッシュレス決済が一体となった Olive が受容されていることが表れていると捉えております。

< Olive新規口座開設者のフレキシブルペイ利用率の増加 (※4) >



(※4) 2023 年 4 月時点、2024 年 4 月時点のそれぞれの累計 Olive 新規口座開設者における、Olive フレキシブルペイ利用率を比較。利用は開設後のフレキシブルペイによる支払いの有無で判定。

経済産業省が発表したキャッシュレス決済比率 (※5) によると 2023 年は 39.3%と過去最高を更新、2025 年までに 40%という政府目標に向けて伸長していることが分かります。サービス提供開始から 1 年半を経て、Olive をご利用されているお客さまへ、キャッシュレス決済の浸透が進んでまいりました。

(※5) 経済産業省「[2023 年のキャッシュレス決済比率](#)」

今後も SMBC グループのリテールビジネス戦略の柱として、グループの枠を超えた強力なパートナー企業との協業・提携により、質の高いサービス拡充に努めてまいります。

以 上